

令和 6 年 6 月 14 日現在

機関番号：12613

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2021～2023

課題番号：21K20122

研究課題名（和文）限定正社員の人事管理が就業意欲とキャリア形成に及ぼす影響

研究課題名（英文）The Effect of Human Resource Management on Work Engagement and Career Development of Restricted-Regular Employees

研究代表者

平本 奈央子（HIRAMOTO, Naoko）

一橋大学・大学院経営管理研究科・特任講師（ジュニアフェロー）

研究者番号：80906917

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,300,000 円

研究成果の概要（和文）：本研究では、勤務地限定正社員に注目し、彼・彼女らに対する人事管理が就業意欲に及ぼす影響を明らかにした。特に、職場における人事管理に焦点を当て、勤務地限定正社員のワーク・エンゲイジメントを高める要因について検討した。具体的には、職場において勤務地限定正社員の仕事に関わるどのようなマネジメント要因が彼・彼女らのワーク・エンゲイジメントを高めうるのか、またどのような要因がそれらのマネジメントと彼・彼女らのワーク・エンゲイジメントの関係を左右するのかを明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の学術的意義としては、勤務地限定正社員のワーク・エンゲイジメントの向上を考える上で、当該社員が従事する職場におけるマネジメントを検討する重要性について示唆したこと、また、その検討においてはJD-Rモデルが有効な理論的枠組みとなり得ることを示唆した点にある。そして、社会的意義としては、今後ますます勤務地限定正社員の雇用が拡大する中で、彼・彼女らのワーク・エンゲイジメントを高める上で有効となる職場でのマネジメント方法を具体的に示した点にあり、実務的に有益な知見となると考えられる。

研究成果の概要（英文）：This study focuses on regular employees with limited work locations to determine the effects of human resource management in the workplace on their work engagement. Specifically, the study clarified which management factors affect their work engagement in the workplace, and what factors moderate the relationship between these management factors and their work engagement.

研究分野：人的資源管理

キーワード：限定正社員 勤務地限定正社員 ワーク・エンゲイジメント マネジメント 人事管理 職場

以下は、現時点で公表可能な内容にとどめ、後日再提出を予定するものである。

1. 研究開始当初の背景

近年、日本の労働市場において限定正社員への関心が高まっている。限定正社員とは、勤務地・職務・労働時間のいずれかまたは複数において限定性を有する正規雇用の従業員を示し、いわゆる正社員である勤務地・職務・労働時間に限定のない無限定正社員と対比される日本独自の就業形態である。2010年代に入って政策的にその活用が促進され、現在約4割の企業において活用されている。

限定正社員は、主に「正社員 - 非正規社員間の格差解消や 正社員のワーク・ライフ・バランス (WLB) の実現といった課題への解決策として位置付けられてきた。そのため、学術的研究の関心は「解決策としてふさわしい就業形態か」という限定正社員制度の導入の視点におかれ、働き方の限定性あるいは限定正社員制度の有無が及ぼす影響を検討する研究が多かった。その一方で、限定正社員制度の運用の視点から限定正社員に対する具体的な人事管理について十分な実態把握や理論的検討がなされた研究は極めて少ない。また、限定正社員は WLB の実現に寄与する働き方であると評価される一方で、キャリアに対する意欲の低下や、キャリア形成に不利であるといった懸念が持たれている。しかし、こうした懸念に対して人事管理に関連した具体的な課題や問題点はほとんど明らかにされてこなかった。

2. 研究の目的

本研究の目的は、限定正社員に対する人事管理の実態を明らかにし、彼・彼女らの就業意欲やキャリア形成にどのような影響を及ぼしているのかを検討することである。

前述のように、これまでの研究は、「導入の視点」から働き方や制度における限定性の有無が正社員に与える影響に焦点を当て、限定正社員と無限定正社員の間に差があるかどうかを明らかにしてきた。一部の研究においては、これまで正社員に対して成立している理論的な説明について、限定正社員の場合は成立しないもしくは前提とされる条件が異なることを示唆している。しかし、これらの理論に基づいた実証研究はまだほとんど行われていない。本研究は、「運用の視点」から限定正社員に対する人事管理を明らかにし、それが限定正社員に及ぼす影響として主に就業意欲に関して理論的な観点より明らかにすることを目指した。

具体的には、近年企業の人材不足に対するニーズと転勤を望まない労働者の就業ニーズに応える働き方として制度導入企業が増加傾向にある勤務地限定正社員に焦点を当てて、勤務地限定正社員のワーク・エンゲイジメントを高めるマネジメント要因について、新たな知見と示唆を提示することを目的とした。

これらの検討を通じて、これまでほとんど検討されてこなかった限定正社員の人事管理に関する知見を得ること、さらに限定正社員に及ぼす影響をふまえた改善点を提示することで、限定性とキャリア形成を両立する限定正社員の人事管理構築に貢献することが期待された。

3. 研究の方法

本研究は、主に 文献調査、 2 次データ再分析、 独自質問票調査 (Web) の 3 つの方法を用いた。

具体的には、まず限定正社員を対象とした先行研究の文献レビューを実施した ()。その結果、3 つの限定種類の中では、最も知見が蓄積されているのは勤務地限定正社員であることが確認された。これにより、この後の実証研究については、勤務地限定正社員のみを対象を絞って実施することとした。勤務地限定正社員を対象とした実証研究は、2 次データの再分析 () を実施し、その結果に基づいた独自の質問票調査を実施し分析を行った ()。

4. 研究成果

(1) 文献調査

限定正社員を扱った研究を 3 つの研究群に分類してその知見を整理し、勤務地限定正社員以外の限定正社員との比較を含めて概観した。その上で、勤務地限定正社員に焦点を当てて先行研究の知見を抽出した。これにより、勤務地限定正社員が有する特徴を明確に確認し、先行研究の知見から勤務地限定正社員を対象とした研究における課題として、勤務地限定正社員の就業意識に注目した研究の拡充、職場におけるマネジメント要因が勤務地限定正社員に与える影響に関する検討の必要性を指摘した。

これら 2 つの課題を基に、実証研究では勤務地限定正社員のワーク・エンゲイジメントに影響を与える職場のマネジメント要因に関して検討を行うこととした。

(2) 2 次データ再分析

厚生労働省白書『労働経済の分析』(厚生労働省, 2019) の 2 次データを再分析することにより、仕事の要求 - 資源 (Job Demands-Resources : JD-R) モデルを理論的基盤として、勤

勤務地限定正社員の特征から重要であると考えられるマネジメント要因について検討した。これにより、勤務地限定正社員のワーク・エンゲイジメントを検討するにあたって JD-R モデルが有効な理論枠組みとなりうることを確認することができた。

(3) 独自質問票調査 (Web)

次に、この 2 次データ再分析で得られた知見を元に、2 次データのデータ制約による課題を改善し、より精度高くマネジメント要因の検討を行うために独自の質問票調査を実施した。本調査で収集したデータを用いて、2 つの定量分析を実施した。これにより、勤務地限定正社員の特征から重要であると考えられるマネジメント要因(仕事の資源)について検討し、彼・彼女らのワーク・エンゲイジメントの向上を考えるうえで、当該社員が従事する職場におけるマネジメントを検討することの重要性を示唆した。また、実務的な示唆として、勤務地限定正社員のワーク・エンゲイジメントを高める上で有効であると考えられる具体的なマネジメント方法を提示した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 1件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 平本 奈央子	4. 巻 -
2. 論文標題 勤務地限定正社員のワーク・エンゲイジメントと職場のマネジメント - JD-Rモデルを手がかりに -	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 一橋大学大学院経営管理研究科 博士論文	6. 最初と最後の頁 1-133
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平本 奈央子	4. 巻 17
2. 論文標題 限定正社員に関する既存研究レビュー：限定正社員の賃金と満足度を中心に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 一橋商学論叢	6. 最初と最後の頁 42-55
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計1件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 平本 奈央子
2. 発表標題 勤務地限定正社員のワーク・エンゲイジメントを規定する職場マネジメント - JD-Rモデルに基づく独自データの定量分析 -
3. 学会等名 日本労務学会第54回全国大会
4. 発表年 2024年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 平本奈央子，江夏幾多郎，岸野早紀	4. 発行年 2024年
2. 出版社 千倉書房	5. 総ページ数 -
3. 書名 「第3章 イオン（仮）」（江夏幾多郎，石山恒貴，服部泰宏編『人事管理の事例と理論（仮）』）	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------